

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・新規)

事務事業名	(1)	作成日	平成	年	月	日
基本目標	(2)	部局名				
政策		課名	(5)			
施策		課長名	内線			
関連施策		担当者名	内線			
事業類型	(3)	会計				
個別計画	(4)	款				
重点事業		項	(6)			
		目				
		事業コード				

【PLAN(計画)】

計画するに至った経緯等(現状と課題)	(7)		
対象(者)誰(何)に対して事業を行うか	(8)		
意図対象をどのような状態にしたいか	(9)		
事業概要意図を達成するために実施することは何か(解決策)	(10)		
事業期間	平成 25 年度 (11) 平成 29 年度	実施方法	(12)
根拠法令、要綱等	(13)		

～平成28年度事務事業評価表(公共事業・新規)の見方～

- (1)事務事業の名称です。
- (2)大村市総合計画の政策体系における事業の位置づけです。
なお、関連施策は、その他の施策でこの事業が大きな役割を担っているものです。
- (3)事業を性質別に分類しています。
この事業では「7.施設等整備事業(負担金を含む)」のみになります。
- (4)個別計画、重点事業となっているものです。
- (5)事業の担当部・課及び担当課長名、担当グループ名、事業担当者名とその連絡先です。
- (6)会計など予算に関する事項です。
- (7)この事業を計画した経緯や理由です。
- (8)事業実施の対象となる物、人、団体です。
- (9)事業の実施により、対象(者)をどのような状態にしたいのかという、事業実施の目的です。
- (10)今年度実施する事業の概要や、「意図」を達成するために実施する手段です。
- (11)事業を実施する期間です。
- (12)事業の実施方法です。方法は次の4種類に分類されます。
1. 直営 2. 委託 3. 負担金 4. その他
- (13)事業を実施する上で根拠となる法令、条例、規則などです。

【DO(実施)】

事業実施項目	計画年度				成果指標	指標名				
① 基本設計	(14)	成	年度	～		平成	年度	(15)		
② 実施設計		成	年度	～		平成	年度			
③ 用地・補償		平成	年度	～		平成	年度			
④ 建設工事		平成	年度	～		平成	年度			
⑤ 事務費等		平成	年度	～	平成	年度				
						着手前現状値	平成	年度	単位	(16)
						完了後計画値	平成	年度		

項目	年度	全体計画		29年度		30年度		31年度	
			補助率		補助率		補助率		補助率
事業費 千円		0		0		0		0	
内訳	国庫支出金	(17)							
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源								
	備考	事業内容		事業内容		事業内容		事業内容	
		(18)							

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

(19) K(評価)

妥当性	<市が実施すべき事業かどうか>
有効性	<施策にどのような影響を及ぼすのか>
効率性	<コストや負担割合は妥当か>

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

1次評価	意見	(20)	2次評価	意見等	(23)	(21)	
						方向性	採用 (22) 不採用

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。

(14)意図を達成するための、項目別、年度別の手段です。

(15)事業の実施により、対象(者)に及ぼしたい影響や、どのような状態にしたいのかを数値化しています。また、算定式がある場合、その算定式を記入しています。

(16)成果指標についての事業着手前の現状値と完了後の計画値です。

(17)事業を実施するために必要な直接的な費用です。各費用の内容は次のとおりです。
 国庫支出金 : 国から交付される費用です。
 県支出金 : 県から交付される費用です。
 地方債 : 国や銀行などから借り入れて賄われる費用です。
 その他 : 使用料、手数料や諸収入などで賄われる費用です。
 一般財源 : 上記以外の市税などで賄われる費用です。

(18)各年度の主な事業内容です。

(19)事業の妥当性、有効性、効率性について、事業担当部・課が自己評価した結果と、その判断理由です。

(20)事業担当者が自己評価した結果への、担当課長による意見です。この評価を「1次評価」とよびます。
 (21)2次評価(評価委員会)とは、1次評価結果をより総合的・客観的に評価するため設置された組織です。

2次評価委員会は次のような構成です。
 市長公室長、総務部長、財政部長、都市整備部長、企画調整課長、総務課長、人事課長、財政課長

(22)2次評価委員会で決定した事業の方向性について、該当項目をチェックしています。

(23)2次評価委員会が総合的・客観的に評価し、決定した事業の方向性についての意見や方向性の決定理由です。